



口田 邦男 議員

## 第6期総合計画における前期5年の取り組みについて、道の駅の今後の取り組みは

町長 関係機関と協議し、清水スタイルの道の駅整備を目指す

**問** 家畜ふん尿の問題は、解決のためにバイオガスパラントの取

**町長** 後継者、担い手の確保による農家戸数の維持に

**問** 今年度スタートした第6期総合計画に基づき将来に向けた町づくりが行われると思う。前期5年の町づくりについて事業の一部項目について伺う。

**町長** バイオガスパラントでふん尿の受け入れをしている乳用牛の頭数の割合は29・4%。有効な有機物資源であるので、化学肥料の減肥など耕畜連携で普及の促進を図る。大規模農家の個別型バイオガスパラントの建設を生産者と共に検討しているところであり、今後さら

**問** 工業の現状と将来をどう認識しているか。

**町長** 令和元年度工業統計

**町長** 令和元年度工業統計



山下 清美 議員

## 駅前通りの歩道の管理方法を検討してはどうか

町長 町内会単位への働きかけや管理協定など、環境整備の方策を模索する

**問** 清水・御影の市街地中心部では空き店舗や空き地が目立ち、近くの歩道は隣近所協力しながら草取りをしている。しかし、駅前通りのインターロッキングの歩道に雑草が見られる。そこで、町外から来客を迎える玄関口である本通の歩道管理の方法を検討してはどうか。



駅前のインターロッキング

**町長** 現在、自主的に草取りなどの管理をされている方や、プランターによる花いっぱい活動に取り組みされている町内会もあるので、町内会単位への働きかけや管理協定など、駅前を含めた町の玄関口としてふさわしい環境整備の方策について模索していきたいと考えている。空き地の管理については、法律や条例で不法投棄の抑止のための清潔保持の努力義務や、防災予防上必要な措置が規定され、町民生活課、清水消防署から、広報により草刈りなど適正な管理について周知を行っている。

## 体育館建設の検討状況は

教育長

町民検討会議や利用団体などの意見を踏まえて議論を進めていく

**問** 体育館建設事業については、3月定例会の答弁後、3か月ほど経過したが、新体育館等建設庁内検討会議での検討状況、具体的に決定している部分はあるのか伺う。

教育長

5月11日に、建設コンセ

プトや施設概要などを議題に会議を開催しているが、具体的な部分についての決定事項は、まだない状況。今後開催する町民検討会議での意見や利用団体からの要望なども踏まえながら、庁内議論を重ねていく。

教育長

体育館建設事業は、町

づくりとして大きな施策の一つであり、これからの町政を担う若い世代の職員の参画も重要であることから、庁内検討会議での議論や基本設計にも反映できるように、意見やアイデアを聴取する機会を設けていく。

教育長

官民を問わず脱炭素社

会の実現を目指す取り組みが求められている。基本設計を進める中で再生可能エネルギーの活用なども検討する。

※カーボンニュートラルとは、炭素中立をいい、排出される二酸化炭素などから森林等で吸収される量を差し引くとゼロになるという概念。

調査では、本町の製品出荷額は約263億2千230万円で、工業は農業と並び地域経済を支える重要な産業である。

令和2年度のプレミアム付商品券の発行総額は3億2千533万1千500円で、前年度の約3倍の資金量が町内に出回っている。6月19日に発行のプレミアム付商品券は1万3千組、1億6千9百万円の規模になる予定であり、かなりの経済効果を期待している。

健康の基本は健康

診であるが、町民の特定健診受診率が上がらない要因は、

町長

国保加入者の令和元年度

の特定健診受診率は37・6%。平成28年度の台風災害で受診率が一度低下したがその後上昇し、生活習慣病やメタボリックシンドロームへの認識

が広まっている。しかし、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により大幅に減少した。受診率向上への取り組みとして、インターネット予約を開始しており、さらに町内医療機関にも協力を依頼し、健診を積極的に受診する体制づくりを進める。

町長

観光振興事業の今後の取り組み

として、情報発信拠点整備事業と道の駅との関係について伺う。

町長

本町は道東の玄関口であるが、その強みを生かし切れていない。魅力ある地元産品を発信する拠点として、「道の駅」の活用を2期目の公約に盛り込んだ。近年は防災をはじめ、地方居住の維持や呼び込み機能などが道の駅に求められる。

今後は観光協会や北海道開発局と協議を進めな

町長

町内外から人が集う公園

園を目指し整備を進めたい。池やレストラン、パークゴルフ場がある既存の公園部分に加え、体育館の移設を予定しているため、当面は池周りを中心とするリニューアル工事に取り組む。

体育館移設後の跡地利用については、計画を具体化した方が、財源の確保など、慎重に判断していきたい。



第6期総合計画をまとめた冊子